

『節分』 決意を新たに

校長 岩本 眞由美

2月2日、東京でも雪の予報がでていましたが、雪は降らずとも寒さの厳しい日が続きました。早いもので2月2日は節分、3日は立春でした。もともと節分とは、「季節を分ける」ことを意味し、各季節の始まりの日（立春、立夏、立秋、立冬）の前日をさしていました。今では、立春の前日だけを節分と言うようになりました。つまり、節分の翌日から、暦の上では春を迎えることになります。

子どもの頃の節分の思い出は、夕方の豆まきと夕食の鰯です。

夕方、辺りが薄暗がりになると、家の窓全てを回り、外に向かって「鬼は外」、部屋の中に向かって「福は内」と、声を出しながら煎った大豆を撒きました。隣の家聞こえるのではないかと声を出すのが恥ずかしかったこと、ご褒美として煎った大豆を姉と競いながら喜んで食べていたことを覚えています。豆まきは季節の変わり目に邪気（鬼）を生じると考えられていて、鬼に豆をぶつけることにより、邪気を追い払い、一年の無病息災を願う意味合いがあります。また、まかれた豆を自分の年齢の数だけ、あるいは年の数より1つ多く食べると体が丈夫になり、風邪をひかないという習わしがあります。

夕食は、決まって鰯を食べたこと、母親が鰯の頭を玄関に飾っていたことを覚えています。柊鰯（ひいらぎいわし）は、焼いた鰯の頭を柊の小枝に刺して作り、鰯のにおい（臭いもの）や柊のとげによって、鬼が家の中に入ってくることを防ぐと考えられています。近頃は、鰯より恵方巻の方が家庭でよく食べられるようになっているようです。恵方巻きは恵方（令和7年は西南西）を向いて一本まらごと一気に食べること、願い事が叶うと考えられているそうです。

節分は、鬼のお面を用意して、豆を投げたり、投げられたりと、楽しい行事の印象が強いですが、由来や意味があり、古くから健康や幸せに過ごせることを願う日とされてきました。長い年月の間に新しい風習が加わったり、時代の流れとともに少し様変わりしたりしますが、子どもたちには日本の伝統や文化についてきちんと伝え、継承していくことが大切だと思います。

さて、令和7年が明けてから一ヶ月半が経ちました。子どもたちは、新年、新学期のスタートにあたり、新しい目標を立て、その達成に向けてやる気に満ちあふれていたことと思います。目標達成への進捗具合はいかがでしょう。目標を立てるところまではいいのですが、日々の生活の中で常に目標を意識し、努力を続けていくことは、簡単ではありません。昔は、冬から春になるのを1年の始まりと考えられており、節分は「大晦日」として明日から新しい年を迎える特別な日と捉えられていました。

一年の節目の一つである節分の日に、一ヶ月の生活を振り返って、努力して伸びたこと、努力しているけど成果として表れていないこと、努力がたりないこと等、反省するとともに、目標達成に向けての意識を高めたり、新たな目標を設定したりと、再スタートを切る機会であってほしいと願っていました。

節分に、「なまけ鬼、あきらめ鬼」を外に追い出し、決意を新たにできましたか。



令和6年度 杉並区教育調査アンケート、意識・実態調査 結果報告

本校の教育目標及び学校経営計画の達成状況を把握するため、令和6年度杉並区教育調査をアンケートを保護者、地域の方に年末年始の忙しい時期にご協力いただきありがとうございました。皆様のご意見を来年度の教育活動に反映させ、より連携、協力しながら学校をよりよくしていきたいと考えています。また、生徒には学校生活における自らの学習の進め方を振り返り、学習改善につなげるためのアンケートを実施しました。

それぞれのアンケート回答の「とても思う」と「思う」の割合を肯定率として数値で表しています。

保護者 結果

質 問	肯定率
(1)子どもは、授業で学ぶことにより、毎日の生活を、自分でよりよくするためにできることが増えている	48.1%
(2)子どもは、学校でみんなと一緒に過ごすことによって、社会を、自分たちで変えるための知識や考え方が身に付いている	58.5%
(3)子どもは、学校で障害者、外国人、性的マイノリティ等の人権に関する多様な価値観について学んでいる	42.9%
(4)学校は、子どもが自分の興味や関心に基づいて学んだり探究したりできるよう、家庭、地域、民間の団体や企業等と連携している	41.6%
(5)連携する小・中学校による小中一貫教育（小・中学校の教員による協働授業、児童・生徒の交流など地域活動への参加等）が進められている	26.0%
(6)子どもは、児童・生徒1人1台専用のタブレット端末や学習eポータル、様々なデジタルコンテンツを、自分の学びや生活の必要に応じ、選択して活用している	57.2%
(7)学校の教室や校舎、敷地内には、子どもたち自らが、学びや生活の必要に応じて選択的に活用できる多様な場を設けたり、様々な道具を備えたりする工夫がなされている	19.5%
(8)学校は、いじめを絶対に許さないという雰囲気がある	37.7%
(9)学校は、子どもの日常の学びの状況や評価方法について、参観、面談、HP、お便り等により充分提供している	55.9%
(10)学校は、欠席等連絡、お便りの配布、アンケートの実施のオンライン化が進められている	74.0%
(11)学校では、教職員、他の保護者、地域の方等とかわり、子どもの成長や学校生活について考えたり話したりすることができている	31.2%
(12)子どもが人間関係や自分自身の心の問題で悩んだとき、学校は、その解決を、きめ細かに支援してくれている	24.7%
(13)学校は、通常の学級や特別支援学校、特別支援学級の子どもが相互に交流したり、一緒に活動したりする機会をつくっている	11.7%
(14)子どもは、学校生活を楽しんでいる	71.5%

学校運営協議会 結果

質 問	肯定率
(1)子どもたちは、学ぶ楽しさを実感しながら、問いや課題を自分なりに立て、自分なりの方法で解決したり探究したりする力が育っている	66.7%
(2)子どもたちは、違いを認め合って共に生きる大切さを実感しながら、それぞれの得意を生かしたり、苦手を補い合ったりする力が育っている	77.7%
(3)教員は、全ての子どもが共に学ぶ中で自分らしく成長できるよう、それぞれの経験や専門性を生かし合っている	66.7%
(4)学校は、全ての子どもが自分の興味や関心に基づいて学んだり探究したりできるよう、家庭、地域、民間の団体や企業等と連携している	66.7%
(5)児童・生徒1人1台専用のタブレット端末や学習eポータル、様々なデジタルコンテンツは、子どもたちによって、その時々での学びや生活の必要に応じ、選択的に活用されている	77.8%
(6)学校の教室や校舎、敷地内には、子どもたち自らが、学びや生活の必要に応じて選択的に活用できる多様な場を設けたり、様々な道具を備えたりする工夫がなされている	55.6%
(7)学校では、校長を中心に、教育目標や目標達成の基本方針、指導の重点について家庭・地域と協議し、子どもたちの思いや願いを尊重する教育課程を編成している	88.8%
(8)学校では、授業や行事、学校生活の内容や進め方について、子どもたちが、学びや生活の主体であることを実感しながら、自分たちで考えたり教職員（学校関係者を含む）と話し合ったりしている	66.7%

杉並区「意識・実態調査」生徒調査結果

質 問	1 学年	2 学年	3 学年	全体
1 各教科の授業の内容に対する理解の程度				
(1) 国語の授業の内容はどのくらい分かりますか	94.2%	90.1%	90.2%	91.5%
(2) 社会の授業の内容はどのくらい分かりますか	91.3%	85.9%	91.8%	89.6%
(3) 数学の授業の内容はどのくらい分かりますか	59.4%	78.9%	86.9%	74.6%
(4) 理科の授業の内容はどのくらい分かりますか	92.8%	73.2%	88.5%	84.6%
(5) 英語の授業の内容はどのくらい分かりますか	81.2%	71.8%	82.0%	78.1%
2 各教科の学習を得意と感じる意識の程度				
(1) 国語の学習はどのくらい得意ですか	68.1%	70.4%	67.2%	68.7%
(2) 社会の学習はどのくらい得意ですか	58.0%	66.2%	59.0%	61.2%
(3) 数学の学習はどのくらい得意ですか	34.8%	59.2%	49.2%	47.8%
(4) 理科の学習はどのくらい得意ですか	75.4%	47.9%	49.2%	57.7%
(5) 英語の学習はどのくらい得意ですか	44.9%	59.2%	50.8%	51.7%
3 学習の動機				
(1) 分かることやできることが楽しいから	75.4%	84.5%	78.7%	79.6%
(2) しっかり考えられるようになりたいから	75.4%	73.2%	72.1%	73.6%
(3) 将来の仕事や生活に役立つから	78.3%	81.7%	85.2%	81.6%
(4) 友達や先生と学習するのが楽しいから	58.0%	69.0%	80.3%	68.7%
(5) 学校の学習で人に負けたくないから	43.5%	62.0%	52.5%	52.7%
(6) 先生や家の人にほめられたり、ごほうびをもらえたりするから	36.2%	42.3%	36.1%	38.3%
4 学習の進め方 (教科共通)				
(1) 確実にできるようになるまで、くり返し練習している	62.3%	62.0%	72.1%	65.2%
(2) 難しいと感じる問題でも、最後まであきらめずに取り組んでいる	49.3%	71.8%	68.9%	63.2%
(3) 分からないことがあっても、学習を続けるようにしている	73.9%	74.6%	83.6%	77.1%
(4) 集中して学習に取り組んでいる	75.4%	78.9%	80.3%	78.1%
(5) どうやったらうまくいくかを考えてから学習を始めるようにしている	55.1%	59.2%	59.0%	57.7%
(6) 学習の途中で、分からないところやできないところはどこかを考えている	65.2%	69.0%	83.6%	72.1%
(7) 学習をしてもできるようにならないときは、学習の方法を工夫している	59.4%	60.6%	73.8%	64.2%
(8) テストでまちがえたときは、なぜまちがえたのかを考えている	76.8%	69.0%	78.7%	74.6%
(9) 他の人と意見がちがったときは、質問をして相手の考えを確かめている	60.9%	67.6%	82.0%	69.7%
(10) 分からないときは、他の人や先生に質問して解決している	78.3%	80.3%	83.6%	80.6%
(11) 自分が考えたことを、積極的に他の人や先生に伝えようとしている	36.2%	54.9%	65.6%	51.7%
(12) 他の人と相談して、考えを深めるようにしている	65.2%	71.8%	73.8%	70.1%
(13) 学習していて分からない言葉があれば、すぐに調べるようにしている	60.9%	73.2%	72.1%	68.7%
(14) どうしてそうなるのかという理由を考えながら学習している	65.2%	71.8%	77.0%	71.1%
(15) 答えだけではなく、考え方も確かめながら学習している	73.9%	67.6%	88.5%	76.1%
(16) 大切な言葉や公式などは、意味を理解して覚えるようにしている	87.0%	80.3%	93.4%	86.6%

5 学習の進め方（国語〈漢字〉）				
(1) 漢字を何度もくり返し書いて覚えている	72.5%	77.5%	83.6%	77.6%
(2) 漢字の部首の意味も考えながら覚えている	37.7%	39.4%	42.6%	39.8%
(3) 似た意味や反対の意味の漢字、使われている熟語などを確かめながら覚えている	37.7%	40.8%	47.5%	41.8%
(4) テストやドリルでまちがえたときは、まちがえた漢字を選んで特に練習している	65.2%	64.8%	73.8%	67.7%
(5) テストで漢字を書きまちがえたときは、どこをまちがえたのかを確かめている	81.2%	85.9%	90.2%	85.6%
6 学習の進め方（国語〈話すこと・聞くこと、書くこと、読むこと〉）				
(1) 発表や話し合いのときは、話す内容や順序を考えてから話している	69.6%	80.3%	82.0%	77.1%
(2) 他の人の話を聞くとときは、メモを取って理解するようにしている	36.2%	53.5%	67.2%	51.7%
(3) 自分が書いた文章を読み返し、分かりやすい表現になるように書き直している	71.0%	81.7%	85.2%	79.1%
(4) 他の人が書いた文章のよい点を取り入れて書くようにしている	72.5%	80.3%	85.2%	79.1%
(5) 文章を理解できるように、大切だと思った部分や疑問に思った部分に線を引ながら読んでいる	52.2%	59.2%	73.8%	61.2%
(6) 文章を読んで理解したことや考えたことなどを他の人に説明している	39.1%	59.2%	70.5%	55.7%
7 学習の進め方（数学〈計算問題〉）				
(1) 答えだけではなく、途中の計算も書いている	82.6%	84.5%	95.1%	87.1%
(2) 簡単に計算することができないかを考えてから計算している	68.1%	62.0%	78.7%	69.2%
(3) まちがえた計算問題は、どこでまちがえたのかを考えている	85.5%	85.9%	93.4%	88.1%
(4) テストやドリルでまちがえたときは、似た問題を選んで、特に練習している	50.7%	54.9%	80.3%	61.2%
8 学習の進め方（数学〈用語・公式〉）				
(1) 数学で学習する言葉や公式は、見ないでも言えるようにしている	52.2%	77.5%	95.1%	74.1%
(2) 数学で学習する言葉や公式の意味を理解しようとしている	87.0%	74.6%	91.8%	84.1%
(3) 数学で学習した言葉を使って自分の考え方を説明している	50.7%	71.8%	83.6%	68.2%
9 学習の進め方（数学〈文章問題〉）				
(1) 前に同じような問題をやったことがあるかや、今まで学習した問題とどこがちがうのかを考えている	75.4%	69.0%	82.0%	75.1%
(2) 分かっていることと求めることを考えて問題に取り組んでいる	71.0%	83.1%	83.6%	79.1%
(3) 問題文の内容を図や表、グラフに表して考えている	34.8%	52.1%	63.9%	49.8%
(4) 式と答えだけではなく、途中の計算も書いている	81.2%	83.1%	95.1%	86.1%
(5) まちがえた文章問題は、どこでまちがえたのかを考えている	78.3%	83.1%	91.8%	84.1%
10 学習習慣（学習塾や家庭教師による学習等を含めない）				
(1) 学校以外で、月曜日から金曜日まで、毎日およそどのくらいの時間、学習をしますか(学習塾や家庭教師による学習、習い事の時間は含めません)	81.2%	60.6%	85.2%	75.1%
(2) 自分で計画を立てて学習している	60.9%	57.7%	65.6%	61.2%
(3) 教科書を読むなどして、授業でこれから学習することの見通しをもつようにしている	44.9%	46.5%	45.9%	45.8%
(4) 教科書やノートを読み返すなどして、授業で学習したことを振り返るようにしている	58.0%	60.6%	82.0%	66.2%
(5) 教科書やドリルの問題に取り組むなどして、学習したことを確実にできるようにしている	73.9%	59.2%	85.2%	72.1%
(6) 授業で学習した内容について、疑問に思ったことや興味をもったことを調べるようにしている	55.1%	60.6%	70.5%	61.7%

11 学習習慣（学習塾や家庭教師による学習）				
(1) 学習塾や家庭教師による学習の時間は、1週間の合計で、およそどのくらいですか（習い事の時間は含めません）	58.0%	63.4%	85.2%	68.2%
12 学習指導の工夫				
(1) 授業では、問題や活動に取り組んで「できた」「分かった」と感じるが多いと思う	75.4%	83.1%	91.8%	83.1%
(2) 授業では、前の時間までに学習した内容と結び付けて考える時間があると思う	62.3%	84.5%	95.1%	80.1%
(3) 授業では、他の教科の授業で学習した内容を生かして考える時間があると思う	63.8%	64.8%	86.9%	71.1%
(4) 授業では、他の人と考えを交流しながら課題を解決する活動を行っていると思う	66.7%	73.2%	86.9%	75.1%
(5) 授業では、自分が理解したことや考えたことを他の人や先生に説明する時間があると思う	53.6%	66.2%	83.6%	67.2%
(6) 授業では、学習した内容をどのように振り返ったらよいかを、教えてもらっていると思う	56.5%	67.6%	86.9%	69.7%
13 習熟度別指導（数学・英語）				
(1) 自分の学力に応じたコースに分かれて、数学や英語の授業を受けることについて、どのように思いますか	89.9%	93.0%	93.4%	92.0%
(2) 自分の学力に応じたコースに分かれて、数学や英語の授業を受けることで、よく分かるようになると思いますか	81.2%	90.1%	91.8%	87.6%
14 杉並区独自項目				
(1) 新しいことを学んで身に付けようとするとき、自分で計画を立てて学習を進めることができる	75.4%	78.9%	85.2%	79.6%
(2) 相手が自分とは違う考えや気持ちでも、受け止めている	91.3%	94.4%	96.7%	94.0%
(3) いまの学校のみんななら、協力して、全員が通うことが楽しくなる学校をつくれると思う	79.7%	76.1%	91.8%	82.1%
(4) 授業では、学習の方法やペースを自分で選んだり決めたりしながら学んでいる	75.4%	78.9%	88.5%	80.6%
(5) 授業中、分からないことがあれば、先生が自分に合わせて教えてくれる	62.3%	77.5%	90.2%	76.1%
(6) 自分には、自分のやりたいことを応援してくれる身近な地域の大人がいる	76.8%	84.5%	91.8%	84.1%
(7) 授業では、タブレット端末を活用した授業を行っている	92.8%	98.6%	98.4%	96.5%
(8) 学校の生活が楽しい	68.1%	90.1%	95.1%	84.1%
(9) 読書は好きですか	71.0%	63.4%	82.0%	71.6%
(10) 10月中に本を読みましたか	72.5%	56.3%	59.0%	62.7%

◎ 今回の調査において保護者の方々がお忙しい時期にアンケートを実施していただいているのは重々承知しているのですが、保護者の方の回答が全体の3割ほどということでした。次年度以降保護者の方々へ教育活動を今以上に学校だよりや学年だより、またはホームページ等を活用し積極的にアピールし、本校の活動を知っていただき、アンケートに答えていただけるようにしていく必要性を感じています。

○ 「どうやったらうまくいくかを考えてから学習を始めるようにしている」の項目と「自分が考えたことを、積極的に他の人や先生に伝えようとしている」の項目で生徒の肯定率が低い。新しいことにチャレンジしていくことや、自分の意見を発信することを各教科の授業内での活動や各学年の行事等の活動の中で「成功体験の確保」を「成長の実感」につなげ、自己肯定感を向上させていく必要があります。

○ 「学校の教室や校舎、敷地内には、子どもたち自らが、学びや生活の必要に応じて選択的に活用できる多様な場を設けたり、様々な道具を備えたりする工夫がなされている」という項目と「学校は、通常の学級や特別支援学校、特別支援学級の子どもが相互に交流したり、一緒に活動したりする機会をつくっている」で保護者の肯定率が低い。渡り廊下が雨でビチョビチョになるといったことや「誰でもトイレ」がないことやバリアフリーでないことなど、本校が緊急避難所となっていることも考慮し環境を整える必要があります。

【2・3月の主な予定】

17日(月)…朝礼	3月7日(金)…避難訓練
21日(金)…都立一般検査	8日(土)…土曜授業 学習発表会 保護者会
26日(水)…学校保健委員会, 学年末考査 ~28日(金)	10日(月)…振替休業日
3月3日(月)…生徒朝会, 安全指導, 都立一般発表	11日(火)…地域清掃(3年)
5日(水)…職員会議	12日(水)…専門委員会・学校委員会
6日(木)…理科出前授業(1年)合同体育(3年)	13日(木)…卒業式予行

※今月の主な予定は発行時点のものです。社会情勢等の変化により、変更となる場合があります。

教育活動の紹介

大きな予定の変更などは、tetoru 等でお伝えします

【自転車安全利用講習会 1月16日(木)】

今年度からヘルメットの着用の努力義務やスマホ等のながら運転が厳罰化されましたが、なぜそのような法律が生まれたのかという背景を考える機会になりました。ショッキングな事故のスタントを目の当たりにすることで、今まで他人事に感じていた「交通事故」というものを、少しの油断で自分の身にも降りかかることだと感じ、交通ルールを守る大切さを改めて知るきっかけとなりました。



乗り慣れている道具だからこそ、油断がつきものです。自分や大切な人を守るためにも、これからも交通ルールをしっかり守って安全に使ってほしいと思います。

【校外学習(1年) 1月28日(火)】 天気が心配されましたが晴天の中、下町の名所、旧跡の歴史や伝統に触れるための校外学習へ行きました。今年は昼食場所を提供していただいた、東京タワー・法政大学をチェックポイントとしたため、上野・浅草方面を訪問地とした班が多かったようです。決められたスケジュールを一生懸命守ろうとしている姿が大変印象的でした。はぐれてしまったり、時間がなく訪問予定を変更したり、チェックポイントに遅れて到着する班もあったものの、各班無事に最終チェックポイントの阿佐ヶ谷駅に到着し、皆安心した様子が見られました。



2年生や3年生でも班行動が予定されています。次は時間通り動けるようになるのか、成長が楽しみです。

【移動教室(2年) 1月29日(水)~31日(金)】

菅平高原スキー場にて移動教室を実施いたしました。「全力滑走 ~寒くても“アツイ”スキー教室に~」というスローガンを掲げ、菅平高原の大自然の厳しさや美しさの中で、スキー教室を通して自然との関わりを体感することができました。また、宿泊を伴う集団生活を通して、協力する心、思いやりの心、規律を守る心の大切さを学ぶこともできました。来年度の修学旅行にもつながる移動教室でした。



杉並区立東原中学校 学校だより「ひがしはら」

Tel : 03-3390-0148

Fax : 03-3390-3588

【留守番電話対応 18:30~7:30】